

民主化と国連
(国連研究 第5号)

目 次

序

大芝 亮

I	理論的考察	19
1	平和構築における民主化支援と国連の役割	篠田英朗 21
2	国際民主主義の正統性とその危機 ——国際法とのかかわりで	桐山孝信 43
3	国連と「我ら人民」('We the Peoples') の関係 ——グローバル・デモクラシーの視点から	杉浦功一 63
4	米国における国連不信と保守派の言説	中山俊宏 87
5	民主主義と国際連合 (英文)	クリストファー・ジョイナー 107
II	現場の眼	143
6	国連システムのグッド・ガバナンス支援に 対する一考察	小山田英治 145
	——グッド・ガバナンスから民主的ガバナンスへ	
7	タリバン支配下における人権アプローチによる 子どものエンパワーメント	勝間 靖 185
	——状況アセスメントとキャパシティ強化を例として	
8	民主化と国際連合 (英文)	ロビン・ラドウィッグ 209
III	研究ノート	241
9	国際刑事裁判所 (I C C) の非当事国国民に対する 管轄権——その行使の実効性：「国際刑事裁判所規程」 第98条からの検討	妻木伸之 243

IV	書評	265
1	横田洋三・山村恒雄編『現代国際法と国連・人権・裁判』	植木俊哉 267
2	納家政嗣『国際紛争と予防外交』	多田 透 272
3	川端清隆『アフガニスタン—国連和平活動と地域紛争』	佐渡紀子 277
4	人間の安全保障委員会『安全保障の今日的課題』	福島安紀子 282
5	ナイジェル・D・ホワイト『国際連合システム —国際正義に向かって』	水島朋則 287
V	日本国際連合学会から	291
1	「国際公務員制度研究分科会」活動報告	弓削昭子 293
2	国連システム学術評議会（ACUNS）の発展と課題	内田孟男 299
3	規約と役員名簿	305
4	編集後記	310
VI	英文要約	311

執筆者紹介 333